

善意の窓

7月15日現在

市の社会福祉事業、善意銀行、教育事業などに、次の方々からご寄付がありました。(敬称略)

ありがとうございました

- 高畠 高明(常盤町)
- 岩城 義正(堀江)
- 北野 輝太郎(開)
- 平井 義隆(上小泉)
- 中村きみ子(柳原新町)
- 二川 清賢(菟原)
- 滑川高等女学校33回卒業生
- 土肥 邦夫(小森)
- 水橋 哲夫(田中町)
- (故) 稲垣 栄一(横町)
- 山田 亜紀夫(栗山)
- 森 幸子(中川原)
- 大澤 健一(横道)
- 脇坂 義信(大榎)
- 岩城 武(柳原新町)
- 西部小学校 P T A

人口と世帯 17.7.1現在

人 口	34,237	(前月比 44)
男	16,549	(前月比 24)
女	17,688	(前月比 20)
世帯数	10,994	(前月比 2)

- 6月中の異動 -

転入	58	出生	24
転出	99	死亡	27

滑川市内の交通事故状況

	今 年 (7/19現在)	昨年同期
事故件数	102件	130件
死 者	0人	1人
負 傷 者	122人	157人

北陸まちづくりシンポジウム (6月27日)

国土交通省北陸地方整備局は、豊かで住み良いまちづくりについて意見を交換し議論を深めようと「まちづくり月間(6月)」にちなんでシンポジウムを開催し、会場となったほたるいかにミュージアムのレストラン光彩には、県内の行政や商業関係者約100人が参加しました。

「地域の個性を生かしたまちづくり」をテーマにして、第1部では長尾治明富山国際大学教授による基調講演が行われ、第2部のパネルディスカッションでは4人のパネリストが、それぞれの立場から様々な意見を述べられました。



消防団対抗実戦操法大会 (7月3日)



消防署グラウンドで、「消防団対抗実戦操法大会」が行われ、市内の8分団が参加しました。さまざまな障害を越え、素早く消火活動を行うまでのタイムを競い合いました。

滑川市戦没者追悼式 (7月15日)

時の流れとともに忘れ去られようとしている戦争の悲惨さ。しかし、今日の平和は英霊の尊い犠牲があったからにほかなりません。

未来永劫、平和を守り続けていくために、過去の戦争とその悲惨な事実を改めて脳裏に刻み、947柱の御霊を偲び、感謝の誠を捧げ、世界の平和を願いました。



2005 ふるさと龍宮まつり (7月16日~17日)

ほたるいかにミュージアム周辺で「2005 ふるさと龍宮まつり」が、2日間にわたって盛大に開催され、たくさんの方が訪れました。

16日はオープニング式典のあと、さまざまなイベントが行われ、夕方からは市内園児たちの新・古代神踊り、児童クラブの子どもやさこが行進したあと、新川古代神街流し、電飾大型やさこが練り歩き、総勢約3000人のパレードがほたるいかにプロムナードを彩りました。

また、17日は滑川商工会議所創立50周年記念として「深層水アイデアコンテスト」が行われ、滑川高校商業科など市内5団体からユニークなアイデアが出され、「よさこい富山 in なめりかわ」では18チームが躍動感あふれる踊りで観衆を魅了しました。夜には和田の浜海岸で、正三尺五 発や豪華超特大スターマインを目玉とした海上花火大会が開催されました。



社会に学ぶ「14歳の挑戦」(7月4日~8日)

滑川中学校の2年生194人が、社会で生きることを学ぶ「14歳の挑戦」に参加しました。生徒たちは公共施設や福祉施設、店舗、Net 3など65カ所で、働くことの喜びや厳しさを体験しました。

